

# 市議会だより

12月定例会

平成29('17)年2月1日発行



桶川中学校では、11月に創立70周年記念式典を行いました。写真は、桶川百店会の皆さんとミュージカル落語家三遊亭究斗さんと生徒たちです。

## 主な内容

- ◎議案審議と委員会活動  
2～4ページ
- ◎採決結果  
5ページ
- ◎一般質問（16人）  
6～13ページ
- ◎議会からのお知らせ  
議会報告会  
3月定例会のお知らせ  
編集後記ほか  
14ページ

## ◆ 12月定例会日程 ◆

- 11月29日 開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託、市長提出議案の質疑・討論及び表決、議員提出議案の上程及び説明、議員提出議案の質疑及び委員会付託
- 12月 2日 総務常任委員会
- 5日 民生経済常任委員会
- 7日 議員提出議案の上程及び表決、議長の選挙、一般質問（相馬・保坂・岡野・渡邊・岩崎）
- 8日 一般質問（新井・江森・岡安・島村）
- 9日 一般質問（加藤・佐藤正・星野・糸井・新島）
- 12日 一般質問（北村・佐藤洋）  
埼玉中部資源循環組合議会議員の補欠選挙
- 14日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、議員提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、議員提出議案の上程・質疑・討論及び表決、閉会



## 桶川西小放課後児童クラブの整備に伴う

## 事業費を承認しました

12月定例会は、11月29日から12月14日までの16日間の会期で開催され、市長提出議案14件、委員会提出議案3件、議員提出議案1件が提案され審議されました。

### 補正予算

12月の補正予算は、国の補正予算によるものや事業の進捗により必要となった事業及び職員の給与改定に伴い補正するもので、主なものは次のとおりです。

#### 《職員人件費》

総額2千700万円

の内訳は。

民間企業よりも公務員の給与水準

が低くなっているため、

給料表を平均0.2%改定し、

約300万円の増額、勤勉手当を0.1月改定し、1千676

万9千円の増額、扶養手当の見直しなどです。

扶養手当見直しの考え方は。

### 答

民間では配偶者に家族手当を支給する事業所が減少傾向にあるため同様に引き下げます。また、少子化対策として子への経費の充実が適当であるという人事院勧告に基づき、子に対する手当は、平成31年度までに段階的に引き上げていく予定です。

#### 《桶川西小放課後児童クラブ整備事業》

設計にかかる費用が440万円とのことだが、概要の説明を。

西小学校の敷地内に木造平家建て延べ床面積で110㎡程度を予定し、定員は40名で、

外部に障害者駐車場及びスロープを設置する予定

### 答

費用の積算は、設計・測量ともに県の算定基準によるものです。余裕教室の検討はされたのか。

西小学校の校舎内に適当な余裕教室がないとのこと、新築に至りました。通級指導教室の近くでは指導への影響も考えられるため、クラブの開設は難しいと判断しました。

財政的な問題もあるため教育委員会の協力を得、知恵を絞って学校の校舎の利用について再検討できないか。

敷地内にスペースがあることや新設により国からの補助も受けられるため、急ぎよ

実施した事業です。今後、学校の教室活用等も含め、教育部と連携をとりながら、課題に取り組んでいきたいと思えます。

改正の概要は。

①地方税法の延滞金の計算期間の見直し、②医療費控除の特例の創設、③わがまち特例の追加、④軽自動車税のグリーン化特例の延

長などです。

医療費控除の特例の対象となる特定一般用医薬品とは何か。

厚生労働省のホームページに一覧表があり、例えば胃薬、頭痛薬、咳止め薬等、通常買っているような医薬品が、ほぼ該当します。

### 条例等

桶川市放課後児童クラブ設置管理条例の一部を改正する条例

改正の趣旨は。

朝日放課後児童クラブの移転による住所変更と、定員を50名から80名に増員するためです。

建物の材質等は、保育室を2室

（一部畳敷）と静養室等を予定しています。建物の材質はシックハウス等影響のないものを使用し、換気にも十分に配慮しています。延べ床面積は217㎡です。

桶川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

改正の内容は。

厚生労働省令で定める基準の一部改正により、利用定員18人以下の小規模な通所介護を地域密着型サービスと位置づけ、事業の人員等を整備したものです。対象は、介護認定をされた、要介護1～5の方々です。

変更点は。

今までは近隣市の事業所も利用できましたが、原則、地域の特性に応じたサービスを市内で提供されることとなります。



桶川市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

### 問答

改正の内容は。要支援1、2の方々への地域密着型介護予防サービスの提供に際し、その活動状況を運営推進会議へ報告して評価を受け、同会議から必要要望、助言等を聴く機会を設けます。

また、地域との連携や運営の透明性を図るため、

その記録を作成し、公表するという内容です。

### 人事関係

教育委員会委員を同意

青木 健志 氏

12月7日及び12日に議長選挙を行いました。選挙の結果は次のとおりです。

議長選挙

市川 幸三 15票

佐藤 正広 2票

(無効投票1票)

埼玉中部資源循環組合

議会議員補欠選挙

岡野 千枝子

## 白田喜之議長 逝去



白田喜之議長が、去る11月30日に逝去されました。(享年64歳)

故人は、平成19年に市議会議員として当選して以来、3期にわたり市政の枢機に参画し、その間、桶川市議会議長、副議長、決算特別委員会委員長等の要職を歴任し、市政の進展に寄与されました。ここに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

桶川市議会では、故人を悼み、哀悼決議を採択しました。

## 桶川市手話言語条例を制定しました

### 委員会・議員提出議案

#### 桶川市手話言語条例

誰もが社会参加でき、共に生きる桶川市を築くため、手話の普及等に関する施策を推進するための基本事項を定めました。

#### 《条例の全文》

手話は、音声言語とは異なり、手指や体の動き、表情等により視覚的に表現する言語です。

我が国においては、これまで手話が言語として認められてこなかったことや手話を使う環境が整えられてこなかったことなどから、長い間、手話を使う権利やろう者の尊厳が損なわれてきました。

こうした中で障害者の権利に関する条約や障害者基本法において、言語に手話を含むことが明記され、ようやく手話が言語であることが認められました。

しかし、いまだ手話に対する理解が社会において深まっていないと言えません。

そのため、私たちは、手話が必要とする全ての人がいつでもどこでも自由に手話を使える地域社会となるように取り組む必要があります。

ここに私たちは、手話が言語であるとの認識に基づき、桶川市民憲章に定める「おもいやりと助け合いの心」を大切にしたい。誰もが社会参加でき、そして、共に生きる桶川市を築くため、この条例を制定します。

《条例の主旨》

・市の責務は手話を使いやすい環境を整備するための施策を推進すること  
・市民の役割は基本理念の理解を深め、市が推進する施策に協力すること  
・市は施策を総合的に推進するための方針を策定すること  
・市は必要な財政措置を講ずるよう努めること

議会は、意見書を可決し、国会及び関係機関に提出しました。  
その主旨は次のとおりです。

#### 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまでに地方行政の広範かつ専門的な諸課題につ

いて住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。  
また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に專業化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望するものである。

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書



# 閉会中の委員会活動

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向け、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれた。

(略)

今後、軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則として自己負担となれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねない。

また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制されることにより、重度化が進んで結果として介護保

険給付の適正化という目的に反し、高齢者の自立的な生活を阻害し、給付費が増大するおそれがある。

よって、国会及び政府正における福祉用具、住宅改修サービスの見直しについて、高齢者の自立を支援し、要介護状態の重度化を防ぐという介護保険の理念に基づき、介護が必要な方の生活を支える観点からの検討を行うよう強く求めるものである。

## 委員会報告

### 総務常任委員会

10月26日 秋田県仙北市の「マイタウンバス運行事業等」について視察しました。市が行う市民バスと市内のタクシー事業者が運行するデマンド型乗合タクシーにより交通空白地帯の解消が図られています。また、免許返納者が利用する際に100円割引となる優遇制度やスクールバス機能を加え、安定的な利用者の確保に取り組んでいます。

昨年11月末の前臼田喜之議長のご逝去により、議員各位からのご推挙をいただき、議長という重責を担うこととなりました。微力ではございますが、歴代議長が築いてこられた良き伝統を守りながら、時代に合った形に成熟させることを目指し、誠心誠意、市政の進展と市民福祉の一層の向上に全力を尽くすとともに、開かれた議会運営に努めてまいります。今後とも、市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

議長 市川幸三

## 新議長就任のごあいさつ



昨年11月末の前臼田喜之議長のご逝去により、議員各位からのご推挙をいただき、議長という重責を担うこととなりました。微力ではござい

ますが、歴代議長が築いてこられた良き伝統を守りながら、時代に合った形に成熟させることを目指し、誠心誠意、市政の進展と市民福祉の一層の向上に全力を尽くすとともに、開かれた議会運営に努めてまいります。

今後とも、市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

議長 市川幸三

広場、②音楽交流室、③サービスセンター、④多目的ホール、⑤市民交流サロン、⑥市民活動センター、⑦自然科学学習館、⑧子ども未来センターで構成され、民間施設は、①商業施設、②業務施設、③福祉施設、④宿泊施設、⑤駐車場で、人の交流、滞留をもたらしています。

中心市街地にぎわい創出事業は、①中心市街地まちづくり支援、②アキタミュージックフェスティバル補助金、③あきたアートプロジェクト負担金、④冬期にぎわい創出事業「なかいちウインタパーク」の4つで、官民・官学連携、市民と協働で事業を進めています。

10月5日 石川県加賀市「ものづくりの集積地の活用・再生」について視察しました。企業誘致施策では税の減免方式を採用し返還問題の解消や工場立地に係る規制緩和、用地紹介等を行い、また、医療・介護分野の新たな創造や関連するロボット研究等、様々な事業により、求人倍率が高水準でした。町屋の活用は景観保存や、まちの賑わい創出事業で、所有者と借主の仲介も行う、学習塾から介護施設まで幅広く活用しています。

10月4日 石川県かほく市「道の駅高松」「子育て支援・かほく市ママ課プロジェクト」について視察しました。

道の駅は景観の良いカフェ・ドッグラン・近隣

10月5日富山県富山市「富山型デザインサービス」

10月4日 石川県かほく市「道の駅高松」「子育て支援・かほく市ママ課プロジェクト」について視察しました。

道の駅は景観の良いカフェ・ドッグラン・近隣

10月5日富山県富山市「富山型デザインサービス」



# 採 決 結 果

③ 政策提言により議会の機能強化を図ること。  
 議論には、議員個々の常日頃からの勉強が重要であり、お互いに教訓化できるように努めていきたいと思います。

犬山市議会は、会派を越えた有志が集まり議会改革を推進し、次のことを実践してきたとのことです。

- ① 議員報酬の見直し
- ② 議員間討議の促進
- ③ 議会人事・組織の改革
- ④ 適正な政務活動費管理
- ⑤ 議会基本条例の制定
- ⑥ 市民との意見交換会の開催

以上の説明を受け、当市においても議会基本条例の設置や、活発な議員間討議の場をつくることなどが必要であると感じました。今後も「桶川市の発展と市民福祉の向上」のために、より一層の議会改革を進め、市民の皆様への信頼に応える開かれた市議会となるよう努力することを約束します。

## 1 2 月定例会で審議された議案とその結果

市長提出議案

○は賛成 ※1(12/14表決)は議長として、※2(11/29、12/7表決)は副議長として採決に加わっていません。

議案番号	議案名	議決結果	新政会					新風クラブ21				公明党		日本共産党	無会派					
			糸井政樹	岡野千枝子	岡安政彦	相馬正人	加藤ただし	市川幸三	佐藤洋	江森誠一	新島光明	島村美貴子	新井孝雄	仲又清美	保坂輝雄	岩崎隆志	佐藤正広	星野充生	北村文子	渡邊光子
第59号	平成28年度桶川市一般会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
第60号	平成28年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
第61号	平成28年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
第62号	平成28年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
第63号	平成28年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
第64号	桶川市個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第65号	桶川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
第66号	桶川市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第67号	桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号	桶川市放課後児童クラブ設置管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号	桶川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号	桶川市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号	埼玉県央広域公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号	教育委員会委員の任命について(青木健志氏)	同意	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 委員会提出議案

委第3号	哀悼決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○
委第4号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委第5号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 議員提出議案

議第2号	桶川市手話言語条例	可決	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
------	-----------	----	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

# 一般質問

## 桶川駅の見直しについて

相馬 正人

一括式

**問** 始発と終電時刻の見直しはできないか。

**答** JR東日本高崎支社に確認をしたところ、JR高崎線では早朝深夜の限られた時間帯において、線路工事や保守点検作業を実施しており、これらのメンテナンス作業のため、必要な時間を確保することから、始発列車時刻の繰り上げ及び終発列車時刻の繰り下げは非常に難しいとのことでした。

市といたしましたは、これまでも埼玉県長会や高崎線沿線市町で組織している、高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会を通じて、毎年始発列車時刻の繰り上げ及び終発列車時刻の繰り下げに関する要望をさせていただいていますが、今後も引き続き列車の安全安定輸送の確保を初め、鉄道

を利用される市民の皆様への利便性が高められるよう要望してまいります。

**問** エレベーターの設置されていない東口を車椅子の方が下り方向で利用する際には、エスカレーターを一旦とめて下り運用に切りかえ利用していただいている。

これは、車椅子を利用した方に安全に駅を利用していただくために必要な作業だと思ふ。しかしながら、エスカレーターの切りかえには5分から10分程度の時間が必要となり、その間足の不自由な方などは階段の下で待つことになる。電車の時間に合わせて駅に来る方がほとんどで、場合によっては予定していた電車に乗りおくれることも考えられる。最近では、花火大会やコンサートなど大きなイベントも行われる最寄りの駅では、普段使わ

れていないホームの柵を解放してスイカ専用のゲートを設置しているのを見かける。桶川駅東口の店舗と店舗の間に、朝のラッシュ時だけでもエレベーターが設置されるまでの間、臨時のスイカ専用ゲートの設置はできないか。

**答** こちらもJR東日本高崎支社に確認をしたところ、桶川駅の現在の利用状況や導入費用などを総合的に判断した結果、現在のところ専用ゲートの設置につきましては、困難とのことでした。今後も市民の皆様の利用しやすい駅の整備につつまして、機会を捉え、JR東日本と意見交換をしていきたいと考えています。



## 桶川駅東口整備について

保坂 輝雄

複合式

**問** 駅前広場買収の現在の進捗と完成時期の見込みは。

**答** 駅前広場は63%の買収を完了しており、平成30年度末の完成を目標としています。

**問** 駅前広場のエレベーター設置の時期はいつになるか。

**答** 現在、基本設計の業務を進めていますが、設置時期は未定ですが、一日も早い設置に努めてまいります。

**問** 駅通り拡幅の買収の現在の進捗と完成時期の見込みは。

**答** 駅通り拡幅は埼玉県の事業ですが、買収は1軒で、約3%の取得です。完成時期は平成32年度末を目指しているとのこと。

**問** 南小跡地の整備スケジュールは。

**答** 具体的なスケジュールを示すこと

は困難ですが、駅前広場や駅通りと同様の完了に近づけるよう極力努めてまいります。

**問** 日照権等の問題があるものの、南小跡地に高層階の官民連携による複合ビルを建設し、ホテルやマンション等の誘致により、本市の財政的負担を削減すべきだと考えるが、どうか。

**答** ご提案も含め、時代のニーズに即した内容で検討を行うてまいります。

## 桶川版地域包括ケアシステムの構築について

**問** 桶川版地域包括ケアシステム構築ケアシステム構築

桶川版地域包括ケアシステム構築ケアシステム構築にあたり、来年度から本格稼働する地域包括ケア推進協議会と地域ケア会議の2つが車の両輪のように重要であると考える。そこで、初めに、地域

包括ケア推進協議会の現状と方向性を伺う。

**答** 地域包括ケア推進協議会は、地域

支援事業の3本柱である①在宅医療介護連携、②認知症施策、③生活支援体制整備の3部会を設置し、地域包括ケアシステム構築に向けた体制整備の協議を進めていきます。

**問** 次に、地域ケア会議の詳細は。

**答** 地域ケア会議は、地域包括支援センターごとに毎月の実施を予定し、個別事例の検討を通じて他職種協働によるケアマネジメント支援を行ってまいります。

**問** 最後に、桶川版地域包括ケアシステムを進めていくにあたり、市長の考えを伺う。

**答** 地域包括ケア推進協議会と地域ケア会議の2つを引き続き活用、連携させながら進めていくことが桶川版地域包括ケアシステムを構築する上で、大変重要であると考えています。



「一括式」は質問及び答弁を一括して行います。「複合式」は1回目の質問及び答弁は一括して行い、2回目以降を一問一答で行います。

## コミュニティFMについて

岡野 千枝子

複合式

### 問

コミュニティFMは、小規模のFM局のことで放送エリアは市町村に限定され、内容は地域の行政情報や地元情報、コミュニティ活性化に大きな役割を果たしている。東日本大震災では、災害時の情報伝達手段として注目された。

しかし、経営面等、運営上の課題も多くある。市長の44の宣言にもあるので開設する際、機材等、初期費用や運営方法等を伺う。

### 答

開設にかかる機材等初期費用は、他の開設事例等をみますと3千万円から1億円程度となります。また、開設時より、人員体制を整え無線の国家資格者やアナウンサー等が必要となります。

運営主体は、自治体が単独で開設・運営が出来るので、民間企業・第

三セクター・NPO法人・ケーブルテレビとなります。また、近隣の自治体との共同で行う方法もありますが、近隣の自治体の事情もありますので、意見交換をしてみないとわかりません。

災害時の緊急対応として、コミュニティFMの有用性は、東日本大震災の中で十分確認されていますので、災害時に広く市民の皆様へ情報を提供する手段の一つとして、コミュニティFMを活用する可能性を探っていきます。

## JR高崎線について

### 問

11月4日金曜日10時間運行できない状況となった。

今年、システムトラブル等多く発生したので

### 答

JRの対応、再発防止対策等を市を通じてJRに聞いてもらいたく伺う。

11月4日の当日は沿線の駅は大変な混雑状況で、桶川駅は入場規制を実施して案内要員を10名程動員して対応しました。今回の輸送障害は小動物による配線切断の可能性もあると考えており、配線系統全てに小動物が侵入しないような対策を行ない、運行システムの復旧に時間を要した経験を踏まえ復旧手順等の見直しを行い、設備等の総合点検を実施しました。安全・安定輸送確保のため点検作業の見直しやリスク管理の徹底など安全対策をしっかりと行うとの事でした。

市としましては、高崎線沿線10市町で組織される高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会を通じて、JR東日本高崎支社に対し、再発防止策の徹底と旅客輸送の安心安全の確保に取り組んでもらうよう要望をしました。

## 上日出谷地域体育祭時の日出谷小学校正門前の喫煙所について

渡邊 光子

複合式

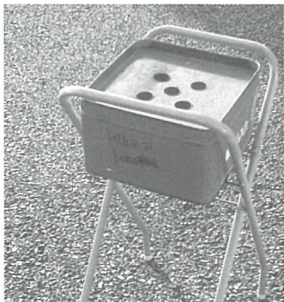
### 問

10月16日の日曜日、上日出谷地域の体育祭が日出谷小学校校庭で実施。学校正門から数歩出た公道に30センチ四方、高さ50センチほどの喫煙者用の灰皿と思われ物があつた。これを通りがかつたSさんが上尾警察に届けた。Sさんに同行、私も上尾警察に立ち会つたが上尾警察の対応は「地域から被害届けが出ている」と言い「Sさんは泥棒をした」と警察官に頭から責められた。それは大変恐ろしい思いをした。この警察官も、聞くと喫煙者だという。警察官は言う「喫煙所設置については地域運動会の方が日出谷小学校長に許可を得ている」という話だ。校長先生に会い話を伺つたが「地域の方々には何かと協力を得なければならぬので強いことは言えない」と

言い、許可できないことでもはつきり物事が言えない様子が伺われた。再度このようなことが起きないように学校の対応を伺う。

### 答

地域体育祭主催者から「来年度は喫煙所は設置しない」申し出がありました。議員が言うように喫煙者は場所をかえ喫煙するように、また、人に迷惑をかけないように携帯灰皿を持つよう実施委員会時に主催者に話をします。



### 問

桶川駅周辺等には喫煙禁止区域をつくり、各学校敷地内は喫煙禁止だ。反面、仮設

庁舎敷地内には灰皿を置き職員等の喫煙所がある。灰皿の撤去を求める。

### 答

吸う方の権利を守るということでも「撤去する」と言えません。吸う方にも権利があります。市長と相談をし、吸う方、吸わない方、お互いの権利を守るような形で運用を行います。

### 問

新庁舎内5階に喫煙所を税金百万円かけて市長や職員、議員専用の喫煙所をつくる。ここは一般市民はめつたに通らない隠れた場所だ。多くの市民もタバコを吸っている。新庁舎以外の各公共施設や駅周辺にも税金を使用して喫煙所の設置を伺う。

### 答

今後も喫煙所の設置は受動喫煙の防止を踏まえ慎重に対応すべきです。現在厚生労働省は2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて受動喫煙防止対策の強化を検討しているという報道です。国の対応を注視していきます。



# 圏央道インター周辺の開発について

岩崎 隆志

複合式

**問** 他市町村と比べ、いささか乗りおくれた感があるとの意見があるが何故か。

**答** 桶川加納インターチェンジの開通からおおむね一、二年後の市街化区域編入となります。川島町の場合も一年で市街化区域に編入されていますので、ほぼ同じ状況です。

**問** ではなぜ2010年に供用開始の桶川北本インター周辺は開発が遅いのか。

**答** 市街化調整区域における大規模開発につきましては、確実に実施されることが必要であり、そのためには関係者の合意が不可欠ですが未だそこまでは至っていません。

**問** 開発最低規模は、20ヘクタール以上です。20ヘクタールが

**答** 完成した暁にはそこに隣接する開発は20ヘクタール未満でよいのか。

**答** 既成の市街化区域に接するので、最低規模は5ヘクタールからです。

**問** 雨水や汚水の処理方法は。

**答** 調節池が基本です。

**問** 川島町と比べて、開発しづらい点は、

**答** 川島インター周辺はほぼ全域が農地ですが、桶川北本インターチェンジ周辺には家屋と建築物が点在していて、面積に対しての地権者数も多い点です。

**問** 桶川市がかかわれるタイミングは、

**答** 地域の方々から具体的なお話や相談をお受けした場合です。皆が幸せを実感できるためには、交通の利便性を

**問** 進捗状況は。

**答** 国との一体型整備による桶川市道の駅整備計画の策定に向け、作業作成を進めているところとです。

**問** 桶川北本インター周辺にはなぜできないのか。

**答** 圏央道には既に狭山や菖蒲に休憩施設としてのパーキングエリアがあることなどです。

生かし、企業誘致を図り、雇用の創出、税収の確保、また、地域の道路や排水施設等公共施設の整備、公園や緑地といった緑の創出にもつながっていきま

## 道の駅について

**問** 進捗状況は。

**答** 国との一体型整備による桶川市道の駅整備計画の策定に向け、作業作成を進めているところとです。

**問** 桶川北本インター周辺にはなぜできないのか。

**答** 圏央道には既に狭山や菖蒲に休憩施設としてのパーキングエリアがあることなどです。

**問** 永く愛される秘策は。

**答** 市の歴史や伝統文化を生かし桶川市をアピールすることだと考えます。

**問** 小中学校給食の食材費会計の現状と公会計化へ見解・取り組みへの考えは。

**答** 食料料費は学校ごとに会計処理する私会計であります。保護者から口座振替で集金し、学期ごとに収支状況を保護者に通知しており、年度末にはPTA総会で決算報告をしています。また、公会計は県内の33の市町が実施していますが、引き続き、適正な会計処理に努めていきます。

**問** 現行の私会計の中で、課題や問題点等何か認識していることはあるか。

**答** 給食が3月下旬まで実施されており、監査時間がとりにくいという課題を聞いているが、事務担当者や監査の方々の声を聞き、実態把握をしています。

**問** 私会計の制度的な問題点等の把握が必要と思う。経理関係対応、対応職員関係、食材の安定供給等色々問題があるが、改善するための公会計の導入に向けた調査研究や制度設計等についての検討の考えは。

**答** 市の一般会計に入れる公会計化しているところは、県内ではセンター方式が多く、単独調理場での学校は私会計でやっており、今の形を引き続き維持していきたいと考えています。

**問** 群馬県は数年前から全県で公会計化している。今年6月には、文部科学省からも業務の適正化の推進という通知で、公会計化が求められているが。

**答** 現行の学校単独での給食では非常に厳しいですが、研究をしたいと思っています。

# 学校給食事業の公会計化について

新井 孝雄

複合式

**問** 小中学校給食の食材費会計の現状と公会計化へ見解・取り組みへの考えは。

**答** 食料料費は学校ごとに会計処理する私会計であります。保護者から口座振替で集金し、学期ごとに収支状況を保護者に通知しており、年度末にはPTA総会で決算報告をしています。また、公会計は県内の33の市町が実施していますが、引き続き、適正な会計処理に努めていきます。

**問** 現行の私会計の中で、課題や問題点等何か認識していることはあるか。

**答** 給食が3月下旬まで実施されており、監査時間がとりにくいという課題を聞いているが、事務担当者や監査の方々の声を聞き、実態把握をしています。

**問** 私会計の制度的な問題点等の把握が必要と思う。経理関係対応、対応職員関係、食材の安定供給等色々問題があるが、改善するための公会計の導入に向けた調査研究や制度設計等についての検討の考えは。

**答** 市の一般会計に入れる公会計化しているところは、県内ではセンター方式が多く、単独調理場での学校は私会計でやっており、今の形を引き続き維持していきたいと考えています。

**問** 群馬県は数年前から全県で公会計化している。今年6月には、文部科学省からも業務の適正化の推進という通知で、公会計化が求められているが。

**答** 現行の学校単独での給食では非常に厳しいですが、研究をしたいと思っています。

**問** 沿線土地の利活用の取組みと公共施設等の誘導の考えは。

**答** 具体的な構想等はありませんが、道の駅を活性化施設として整備を進めていきます。

**問** 交通環境への対応や活性化策として、消防署西分署や上尾警察署川田谷駐在所などの公的施設の移転整備の促進、誘導の考えは。

**答** 県央消防本部に現在の施設の置かれた状況を含め、意見交換を進めていく必要があると考えています。

**問** 道の駅に防災拠点機能と連携という点で、消防施設等の連担も効果的だが、市としての考えは。

**答** 先程の消防との意見交換を進めていく中で、将来のあり方について検討していきたいと考えています。

上尾道路沿線の土地利用と公的施設の整備について

**問** 沿線土地の利活用の取組みと公共施設等の誘導の考えは。

**答** 具体的な構想等はありませんが、道の駅を活性化施設として整備を進めていきます。

**問** 交通環境への対応や活性化策として、消防署西分署や上尾警察署川田谷駐在所などの公的施設の移転整備の促進、誘導の考えは。

**答** 県央消防本部に現在の施設の置かれた状況を含め、意見交換を進めていく必要があると考えています。

**問** 道の駅に防災拠点機能と連携という点で、消防施設等の連担も効果的だが、市としての考えは。

**答** 先程の消防との意見交換を進めていく中で、将来のあり方について検討していきたいと考えています。



## 財政健全化の取組みについて

江森 誠一

複合式

**問** 市税及び地方交付税における今後の歳入状況をどのように分析されているのか伺う。

**答** 基本的に中長期的に見ますと、人口構造が変化してきてますので、生産年齢人口がこれから緩やかに減少してきます。このようなことから、市税全体としては緩やかな減少傾向に進むものと考えています。

**問** 大型プロジェクトを進めることにより今後実質公債費比率の上昇が見込まれるが、事業計画の見直しや縮小などの考えを伺う。

**答** 事業の見直しや縮小というお話につきましましては、基本的には真に必要とされる事業の選択をまず行ない、その上で新しい事業を進める場合、サンセット方式や民間活力の導入など十分な検討を行ないます。

**問** 財政力指数の向上に向けた施策について考えを伺う。

**答** 本市は歴史的にベッドタウンで今まで発展を続けてきた町ですので、この辺の人口減少を見据えた定住促進

**問** 市税の減収が予想される中でその対策として、どのような対応策をお考えか伺う。

**答** 事業を進める上で国、県補助金の最大限の確保や、地方債の特定財源の活用を図ることは最重要課題と認識

してます。そのほか区画整理や田園都市産業ゾーンへの推定により定住人口に向けた政策を進め市税収入の確保に努めます。

市道の安全対策を行なうための舗装修繕費について年々横ばいとなっている状況の中、特に生活道路への修繕は緊急性をもった対応が必要と思うが、当局の考えを伺う。

**答** 緊急修繕工事費は緊急を要する修繕と、計画的に行う指定修繕があります。緊急修繕については毎年5千万円程度執行させていたでいます。厳しい財政状況の中、緊急修繕のため予算を潤沢に確保できませんが、補助対象路線を増やし国からの補助金を確保できるような工夫と努力を積み重ねていきたいと考えています。

## 道路維持事業について

つながる施策、そういった意味では子育て支援や教育予算の拡充、そして、安定した雇用を創出する為の企業誘致を推進していきます。

**問** 市道の安全対策を行なうための舗装修繕費について年々横ばいとなっている状況の中、特に生活道路への修繕は緊急性をもった対応が必要と思うが、当局の考えを伺う。

**答** 緊急修繕工事費は緊急を要する修繕と、計画的に行う指定修繕があります。緊急修繕については毎年5千万円程度執行させていたでいます。厳しい財政状況の中、緊急修繕のため予算を潤沢に確保できませんが、補助対象路線を増やし国からの補助金を確保できるような工夫と努力を積み重ねていきたいと考えています。

## 福祉施設の防災対策について

岡安 政彦

複合式

**問** 児童福祉法など改正されたが、福祉施設における災害対策の基準について伺いたい。

**答** 埼玉県では、平成28年10月に社会施設等における非常災害対策計画の策定の手引きを作成してまいりまして、現在、埼玉県及び桶川市において、この手引きについて所管する各福祉施設に対し、周知を図っているところだ。

**問** 桶川市教育委員会点検評価報告書について

桶川市教育委員会点検評価報告書について

**問** 今の子供たちも勉強以外にも様々な社会的教育、生きていくための教育などあるが、防災教育についての授業はあるのか伺いたい。

**答** 防災教育については、点検項目にはなっていますが、各学校では地震や災害を想定した避難訓練や、引き渡し訓練、防災給食の実施など年間指導計画に従って実践しています。

**問** 災害は学校にいつ起こるとは限らない。まずは、自分の命を守ることを、自分は今何が出来るのかを考えるため

にも防災教育が必要と考える。川口市の中学校では防災リーダー認定講習会を開催し、災害対策や避難時の注意点を学んだり、応急手当などを体験した後に防災リーダーに認定している。また、荒川区の中学校では中学レスキュー部による地域とのきずなのネットワーク活動で、地区のお年寄りたちを見舞い、防災について語り、避難時には手をとって助け合うなどしている。だが本市でもできないか伺いたい。

**答** 防災について児童生徒が深く学び、地域の一員としての役割を自覚して、災害時に活躍できることはとても大切なことと考えています。教育委員会としては、防災教育を一層充実させるため、議員からご提案いただいた防災リーダー認定講習会など先進的な取り組み事例を関係機関と協力しながら研究を推進し、実施していきたいと思っております。

児童生徒が深く学び、地域の一員としての役割を自覚して、災害時に活躍できることはとても大切なことと考えています。教育委員会としては、防災教育を一層充実させるため、議員からご提案いただいた防災リーダー認定講習会など先進的な取り組み事例を関係機関と協力しながら研究を推進し、実施していきたいと思っております。



## 西側大通り線の安全対策について

島村 美貴子

一括式

**問** 西側大通り線開通後の事故件数や発生場所について伺う。

**答** 平成27年10月30日に開通した旧一

二三屋食堂交差点から圏央道側道部までの区間で、平成28年10月31日現在、15件発生しています。内訳は、自動車同士、自動車が5件、自転車と自動車が7件、自転車と二輪車の事故が1件、二輪車と自転車の事故が1件、自動車と歩行者の事故が1件でした。

また、事故の多い場所は、市役所分庁舎付近の市道1号線との交差点で4件、ベニバナウオーク前の県道12号線との交差点で3件です。

**問** 西側大通り線とベニバナウオーク

前の県道12号線との交差点及び旧一二三屋食堂との交差点には、県道との交差点にも係らず、依然と

して右折信号がない状況だ。両交差点への右折信号設置の動向について伺う。

**答** 先日、上尾警察署より、ベニバナ

ウオーク前の交差点に右折信号機の設置が決定した旨の連絡を頂きました。平成29年3月までの間に4方向全てに設置することです。

また、旧一二三屋食堂前の交差点については、右折帯までの車両の滞留がさほどではないことから、現段階では、右折信号機の設置は必要ないと判断しており、設置されない状況です。

## 子どものインフルエンザの予防接種へ助成を

**問** 医療機関により、

お子さんの多い家庭では、家族で予防接種を行うと

毎年かなりの負担となる。特に13歳未満では2回の接種が必要となるため、その負担は非常に大きい。接種費用を助成する自治体が増えているが、当市の考えは。

**答** 県内では現在10市町村が助成して

おり、助成対象者は幼児のみ、小学生まで中学3年生のみ等、様々で、助成額も異なります。

年により流行するウイルスの形が違い、他のワクチンほどの高い効果は期待しにくいと言われています。また、免疫の持続効果が短く、必ずしも病気の発症を防げるものではないとの報告もあります。また、その効果も、年齢により異なり、高齢者は約45%の発症を阻止できると言われていますが、小児に関しては年齢が低くなるほど、効果が割合が下がるとの報告があることから、必要性を鑑みながら、今後検討していきます。

## 空き家対策の施策について

加藤 ただし

複合式

**問** ①相談窓口が空き家の予防策と考

え、関係団体と連携し意見や提案を募ることは必要と考え、今後の進め方について。②空き家子育て世帯に購入して頂くため、固定資産税等の減免などをし、転入・移住を促し人口増加の検討や、ポケットパークとして活用した後に、緊急車両が入れる道路整備等、町並みや防災に関する整備を長期的に進める等の空き家の活用と政策について。

**答** ①建築士会等の

専門家の関係団体と協定を締結しネットワークを構築して、大変有効である無料相談会等を開催します。②庁内で連携をし、まちづくりを考えます。

**問** 今後の流れと予

定、また学識経験者を構成員とする法定協議会も必要と考えるが。

**答** 建築士会等の5

団体との協定は、H28年度末には締結する予定です。5月中の無料相談会開催に向け協議を進めます。学識経験者を含めた空き家対策法定協議会をH29年度中に設置する予定です。

**問** 草木の繁茂の除

草や見回り等の管理を、シルバー人材センターと連携し、空き家の所有者にチラシの送付、HPや広報等で案内をして頂きたい。

**答** 協定の締結を行

## 坂田寿線の道路整備について

**問** 東中学校から東

小学校までの区間の整備について伺う。

**答** 上尾市の道路が

未整備の状況です。用地の取得後、整備した

いと伺っています。

**問** 小野市長は先日、

次期市長選への出馬を表明したが、市民の安心安全を担保する事項も小野市長から直接上尾市長へ積極的に働きかけは如何か。

**答** 議会から早期開

通のご要望があつたと上尾市長に伝えます。

## 東口整備の買収用地活用について

**問** 一番街通りは夜

や雨の日など送迎の車が停車をし、沿道の方に迷惑をかけている状況から、送迎車対策に活用して頂きたい。

**答** 仮設の自動車送

迎場を今年度中に整備します。

**問** 整備内容や工事

期間及び周知の方

法について。

**答** 駅通りから入り

7台程度の停車スペースで、年度末の完成予定です。かわら版に掲載し、看板を設置します。



**「道の駅」整備は慎重に市民の合意できる規模・内容に再検討を**  
佐藤 正広  
複合式

**問** 7月1日付で道の駅飛行学校跡地整備課に市の外部より主席主幹を課長級で採用、この経過について伺う。

**答** 現役の道の駅の駅長が去年の11月に当市で講演をし、今年の6月まで道の駅の駅長を続けながら、赤字を削減する意味から退職すると発言し、当市職員に、しかも課長級で採用される。こういう流れは非常に疑惑を持たれると思う。

**問** 道の駅飛行学校跡地整備課を新たに発足後、事業の進捗に伴い、整備計画に本格的に入ることから、地域振興の実務経験、企画運営能力など即戦力となる人材が求められるため、募集を行いました。

**問** 市庁舎建設など大きな事業では継続性を持って取り組めるように担当者を配置して

**答** 収益を伴う物販及び飲食施設の収支については、指定管理者による独立採算が前提なので、それ以外の施設の維持管理費用の部分について、今後シミュレーションし、毎年の市の負担を把握しなければと考えています。

**問** 仮設庁舎跡地に近隣要望に沿った複合的公共施設を

**答** 若手の職員がいちろんな仕事を通じて現場で経験を積んで育てていくということが第一に大事なことです。そして、市役所内部だけでは得られにくい高度な専門性、それはやはり民間でのノウハウも事業によつては、必要な部分が出てきます。

**問** この整備計画素案は25億円もかける大事業。今建設中の市庁舎も当初の予算は32億円。これだけ大きな予算を投入し、しかも建設後も運営管理が軌道に乗らなければ毎年赤字の穴埋めに市からの支援が必要になる。減価償却も含めて、経営的な採算の見通しについて伺う。

**駅周辺整備を重点的に**  
星野 充生  
複合式

**問** 駅東口エレベーター設置に関して、11月にJRとの協定が結ばれたとの事。その協定の内容について。

**答** 2つの協定を締結させていただきました。1つは、基本協定で、エレベーター設置に関わる設計から工事完了に至るまでの基本的な協力関係として、業務範囲、設計及び施工の主体、費用負担、財産の帰属などの考え方を明らかにしたものです。

**答** 火災時の延焼防止、被災時の駅からの避難や緊急物資輸送の確保などの観点から駅東口駅前広場及び駅東口通り線の整備は必須です。加えて地区内の緊急車両の通行、被災時の地域生活者の避難などの観点から地区内道路整備の必要性も踏まえ、平成26年度に基本計画案をまとめ、現在事業化に向けて取り組んでいます。

**問** 市街地に関して、道路は狭く公園もなく、家屋が密集している。こういったところで

**問** 中山道商店街の活性化に関して、道の駅にお金をかけるより、まずはこちらにお金をかけてくれとの商店の声がある。山口県周南市の道の駅「ソレイレ周南」は2年目にして2千200万円の赤字を出した。今の

状態で道の駅をつくれれば同じような結果になるのではないかと心配。道の駅は、桶川駅周辺の整備を初めとした地元産業の活性化が定着してからではないか。

**答** いずれも桶川の将来に向けた大切な事業と認識しているところです。

**小中学校トイレ改修について**

**問** トイレ改修の具体的内容を。

**答** 29年度は東中学校と加納小学校、30年度は桶川小学校、西小学校の南校舎、川田谷小学校の南校舎、西中学校を予定しています。31年度は東小学校、西小学校の北校舎、川田谷小学校の北校舎、朝日小学校、32年度は日出谷小学校、桶川中学校、加納中学校を予定しています。また、トイレ改修工事と同時に屋上防水工事や外壁改修工事を実施する予定です。

11 おけがわ市議会だより No.185



## 当市における産婦人科医院の誘致について

糸井 政樹

複合式

**問** 当市は少子化対策や子育て支援事業に策を講じているが、

まず地元で子供を産めるという施設が現在ゼロという状況だ。産婦人科医療は全国的に見ても激減している状況である。

これは24時間365日、時を選ばず予測不能の母体や胎児の急変が発生するなど、勤務状況が厳しい産科や小児科などは医師から敬遠される傾向があり、少子化の影響から病院の収益悪化問題も考えられる。そのような中、当市は市内に産科が必要であるか行政の考えを伺う。

**答** お住いの近くに分娩のできる医療機関があるというのは、市民の皆さんの安心につながるものと考えていますので、その必要性は認識しています。

**問** 地元医師会の先

生方と情報交換を

しているということだが、どのような問題点や課題があるのか。

**答** 質問の中にもあります。少子化や24時間体制での厳しい勤務状況、命を預かる責任などから産科医を希望する学生が少なくなっています。また産科医の高齢化から後任への引継ぎなどの課題があります。

**問** ここは思い切った策として、分娩

を扱う産婦人科を開設しようとする者に対して補助金を出して支援することが得策と考えるが市の見解を伺う。

**答** 継続した医師会との連携と、あわせて助成制度も含め効果的な方法を検討します。

東京オリンピック・パラリンピックに向けて

いよいよ日本は

東京オリンピック・パラリンピックに向けて動き出した。

当市もどのようにしてかわっていくのか伺う。

**答** 2020年は市制施行50周年の年でもありますので、合わせた企画なども考えられます。東京オリンピックの機運を市民の皆様とともに醸成していければと考えています。

**問** 先日桶川中の陸上部でOBによる講演があったが、市内小中学校において、オリンピックで活躍された方を講師に招き、アスリートとしての生き方や夢に向かってどのようなことをしてきたのかを学ぶような事業ができないか伺う。

**答** アスリートの話を直接伺う機会を子供達にとって大変有意義な経験になると思います。市内の子供達の夢を育み、それに向かって意欲を高めていけるような取り組みを進めていきたいと考えています。

## 下東区画整理除外地の町名地番同時変更について

新島 光明

複合式

**問** 2012年9月議会での質問に対し「区画整理事業の進捗の中で「区検討」と答弁されたが、

どう検討されたか伺う。

**答** 町名表示が、民地と民地の境で切れる状況は、郵便や配送業者、行政にとっても色々な面で混乱を生じさせることが考えられます。よって、区画整理事業施工地区内にも区画整理除外地区も同時期に町名表示変更が必要です。

区画整理組合では、平成30年頃を目途に町名地番変更を予定していることから、歩調を合わせてやっていくことが重要と考えています。区画整理組合での説明会等を見据えながら除外地区も、関係部局と協力し、同時期開催ができればと考えています。合意形成は何より必要と考えています。(地図をご覧ください。)

災害時要支援者避難等支援制度について

**問** この制度は、6年前に要支援者の支援を目的に創られたが、支援者として登録された方から「これまで一度も何の連絡もない。本当に役に立つ制度なのか。」等の疑問が寄せられたことから、①登録者数、②自治会等への事前の情報提供、③市として創設後の状況把握、④今後の見直し等について伺う。

**答** ①登録者45人。②自治会・自主防への情報提供は災害発生時のため行っていません。③状況把握も行っていない。④平成22年度開始以降見直しを行っていませんが、災害時の要支援者への対応は迅速さが求められることから、支援者や地域の方々との連携

が不可欠です。変更を進めていきます。

私道の整備推進について

**問** 複数の市民から「自宅前の私道は砂利道。車椅子等の高齢者には外出が困難」との声があることから北本・上尾・川口等の私道整備補助制度を参考に、補助制度を見直す必要があるのではとの観点から伺う。

**答** 補助金の上限額・補助率・補助要件など制度の内容が市民ニーズに合っているのか、近隣市と比べて妥当か等を含め検討すべき点もあることから、今後協議、検討をします。



|| 太線が当初下東区画整理予定地・黒色は除外地 ||



## 赤字が確実な道の駅計画 見直しを

北村 文子

複合式

**問** 管理運営計画で  
は1日4万1800台通  
過となっているが、何年  
の事か。現在は何台か。

**答** 平成42年のこと  
で、今年8月の発  
表は12時間9100台です。

**問** 計画では年100万  
人のレジ通過で2  
千万円の利益となってい  
るが、現状の交通量から  
考えると赤字だ。全体で  
25億、市が約11億、12億

**答** 施設の配置・運  
営等は、これまで  
検討した蓄積で、運営に  
ついては民間事業者との  
話し合いで、引き続き検  
討していきます。

## 新庁舎工事 増額は認めない

**問** 指名停止中の大  
成ロテックをなぜ  
下請けに認めたのか。

**答** 本工事受注の見  
積もり業者で、仮  
設的な下請け工事にと強  
い要望があり市は違法で  
はないと受理しました。

**問** そんなことを言  
っては笑われる。

大成ロテックは、大成建  
設の100%子会社で、談合

種別	種別名	種別番号	種別名称	発注者	その他
設計	設計				
監理	監理				
施工	施工				
その他					

発注者	発注内容	発注金額	発注時期	発注場所	発注者	発注者	発注者	発注者	発注者	発注者
市	設計									
市	監理									
市	施工									
市	その他									

日本設計からの連絡書  
7/20 設計管理者印  
10/5 発注者(監督員)印

市の監督員もいい加減だ。日本設計の連絡書では、「確認申請等による変更を別紙のとおり指示します」に対し、「受領しました。増減金額については別途協議願います。」とある。

埼玉県建築工事共通仕様の別表2で、38項目の監督員の仕事があり、重要な変更は受領ではなく、確認・承諾とその理由が必要だ。設計会社は仕様書で、工事の指示を  
してはいけない。市の承諾なしに「金額を上げていい」とはめちやくちやだ。体制の見直しを。

**答** 監督員に1級建築士を1名加え、今の人数でしつかりやっていき、指摘の指示命令系統も是正する考えです。

## 胃内視鏡検査(胃カメラ)について

佐藤 洋

複合式

**問** 胃カメラと大腸の内視鏡検査について何うが、聞くところによると、バリウムの製造が中止になるそうだが、そういう点で胃カメラを最初からやめたほうが発見は早く、胃がんであれば早期発見ならば治る確率が高い。医療費の全体的なものと考えていった場合、若干の個人の費用負担と行政からの積極的な費用の助成によって、早めに発見して、がんから市民を守る、そんな施策が必要だと思うがいかがか。

**答** 対策型検診での胃がん検診は、40歳以上を対象としまして胃部エックス線検査、これはバリウム検査を含めてということになります、1年に1回実施することになっていますが、国の指針の改正がありまして、今年度から50歳以上を対象にした胃内視鏡検査が実施できるようになりまして、胃内視鏡検査の場合につきましては、受診間隔が2年に1回となります。胃内視鏡検査は集団で実施することはなかなか難しい状況ですので、今後地区医師会の先生方と協議していく必要があると考えています。

**問** なお、大腸がん検診は今後も便潜血検査で実施していきたいと考えています。

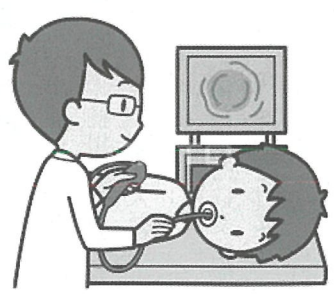
**答** 2市1町の中で胃カメラのできる医院はどのくらいあるのか。

**答** 桶川市内で9機関、北本市内で11機関、伊奈町内で8機関合わせて28機関です。

**問** 医師会との協議という内容が、今後の協議内容は。

**答** 内視鏡検査の医師の認定、また、医師による統影に加えて、全画像のダブルチェックを行うための統影委員会の設置など、さまざまな項目を協議する必要がありますと考えています。

**問** 突然だが、市長、この胃カメラの問題についてどう考えるのか。実施するのかどうか。びしりと答えてほしいが。





## 定例会のお知らせ

3月定例会は平成29年2月20日(月)9時30分開会で、会期日程は以下の予定です。

(※議長の公務や事業等の都合により変更する場合があります。)

### [会期日程(案)]

2月20日	開 会 日
22日	本 会 議
27日～3月1日	常任委員会
3月 2日	本 会 議
3日～9日	常任委員会
10日・13日	} 一 般 質 問
14日・16日	
17日	本 会 議
22日	本 会 議
24日	閉 会 日

## 政務活動費について

政務活動費の収支報告書は、平成25年度分から市議会ホームページにて公開しています。

また、領収書等は議会事務局にてご覧いただけます。

## 第10回議会報告会を開催しました

平成28年11月12日(土)に桶川東公民館で開催をし、15人の方にご参加いただきました。皆さまからいただいた質疑等(抜粋)は、次のとおりです。

- Q 公費を使って市長と職員で知覧に行き、トップセールスをする  
と聞いていたが、その成果について決算特別委員会で議論に  
なったか。また、トップセールスの成果は。
- A 質疑はありませんでした。基金(寄附金)へのご協力ということで市  
長自らお願いに行きましたが、現時点で成果は見えていません。
- Q 土・日に議会を開催することについて検討すると言っていたがどう  
なったか。
- A 執行部との調整もありますので、もう少し時間をいただきたいと思  
います。
- Q 家庭的保育事業とは何か。
- A 定員5人以下の家庭的保育と定員6～19人以下の小規模  
保育の二通りの事業のことです。

### 市政全般への意見・要望等

- ◇ 市民まつりでは200人ほどの人出があったが、中山道は土日は  
ほとんど人が歩いていない。川越では年間700万人訪れると  
聞く。見えやすい場所に飛行学校の看板を立てるとか、寄附の  
集め方とかもっと工夫してほしい。
- ◇ 公共施設の広域利用をもっと進めて欲しい。
- ◇ 大きな借金をして、将来の子供たちに残さないでほしい。

アンケート結果等は市議会HPでご覧いただけます。

桶川市議会ホームページアドレス

<http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

## ◆ 12月議会本会議傍聴者数

月 日	男	女	計
11/29	0	0	0
12/ 7	3	2	5
12/ 8	1	0	1
12/ 9	11	13	24
12/12	6	9	15
12/14	5	10	15
合 計	26	34	60



## 声の市議会だよりのご利用を

桶川市議会では、ボランティアの皆さん(紅花の会)のご協力により「声の市議会だより」を作成しています。利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

### 編集後記

現在、桶川市では新庁舎建設、桶川駅東口整備道の駅建設等、大型の事業が進められており、今後、本市は劇的に変化することが予想されます。これらの事業は平成30年度から32年度までの完成予定であり、その後は地域包括ケアシステムによる高齢者支援や桶川版ネウボラによる子育て支援等、ハード事業よりもソフト事業が重要になってくると思われます。

市議会としては、ハード、ソフトともに様々な事業を厳正に審議し、住みやすいまちづくりを目指して参ります。(保坂)

### 議会だより編集委員会

委員長	相馬 正人
副委員長	保坂 輝雄
委員	渡邊 光子
委員	岡野千枝子
委員	星野 充生
委員	新井 孝雄
委員	市川 幸三
委員	仲又 清美